



NPO 法人日本防災士会佐賀県支部 佐賀県防災士会だより

発行日 令和4年11月1日
発行元 佐賀県防災士会
事務局
会員数 99名 (R4.11.1現在)

1. 車中泊避難の体験研修会

令和4年3月11日（金）～12日（土）にかけ佐賀市大和町のオートキャンプ場において、佐賀県防災士会員による車中泊避難の体験研修会を開催しました。当日は東日本大震災（平成23年3月11日）から11年目を迎え、佐賀県防災士会としても3.11の記憶を薄れさせないことやコロナ禍の中で、分散避難の一つとして注目されている車中避難についての会員研修会を開催しました。当日は防災士会員12名が参加し、各自の自家用車で車中泊するための方法や工夫などについて、意見交換や実践を行いました。また、夜は非常食を摂って防災キャンプを体験しました。1日目の様子をNHK佐賀放送局が取材されニュースの中で紹介されました。



2. 2022 防災フェスタ・治水シンポジウム in 武雄

近年、気候変動により災害が大規模化、甚大化しており、佐賀県では令和元年と3年の8月に武雄市や大町町などを中心に大雨による大規模な災害が発生しました。本格的な出水期を前に地域防災活動や地域防災力の更なる充実を図ることや災害から身を守るために自分の身は自分で守る「自助」、自治会や自主防災組織など地域で互いに助け合う「共助」について知識を深めるため、佐賀県防災士会と武雄市が共催し、5月15日（日）に北方町公民館・大ホールにおいて「2022 防災フェスタ・治水シンポジウム in 武雄」を開催しました。大ホールでは、第1部を佐賀県防災士会副代表溝上良雄氏による「自助と共助による防災力の向上について」の講演、第2部は佐賀大学工学部教授大串浩一郎氏が進行し、武雄市長や武雄河川事務所長などの登壇者による治水シンポジウムが行われました。500人収容の大ホールはコロナ禍の中で約半数の座席数にしましたが満席となりました。また、公民館のロビーや会議室等では、佐賀県防災士会員による訓練用蘇生人形とAEDトレーナーによる救命体験、自宅避難備蓄品展示・説明（災害用トイレ、家庭備蓄品、テント、車両避難）、非常持出袋の説明、防災情報の利活用や住宅用火災報知器、家具転倒防止器具の展示・説明、ロープワーク体験などを行いました。当日はサガテレビや地元ケーブルテレビなどによる取材もあり後日放送されました。



3. 非常食・非常持出袋・災害時のトイレの講習会

令和4年3月15日（火）に佐賀市立南川副公民館において、佐賀県防災士会の柴田氏と松本氏が講師となり地域住民を対象に開催しました。非常持出袋の中身では100円ショップで購入したものもあり、参加者の皆様は実際に手に取ったり、メモや写真を撮るなど大変熱心に聞かれていました。また、実際にアルファ米の非常食を作り試食しました。参加者からは「意外と美味しい」などの感想がありました。



4. 平成28年熊本地震から6年～NHK佐賀放送局で災害への備えを解説

NHK佐賀放送局の「この人に会いたい」のコーナーに佐賀県防災士会の柴田氏が出演し、平成28年熊本地震から6年経過したことから「地震への備え」などについて解説しました。柴田氏は阪神淡路大震災で3年半に及ぶボランティア活動経験などを踏まえ、特に災害時のトイレの重要性などについてお話しされ、4月14日に放送されました。



5. 令和4年度佐賀県防災士会総会

令和4年5月28日（土）に佐賀市立嘉瀬公民館において、令和4年度佐賀県防災士会総会を開催しました。令和3年度活動経過報告及び収支決算、役員改選、令和4年度事業計画案及び予算案をはいずれも原案どおり採択されました。また、総会終了後、佐賀県防災士会の井口氏と防災情報班による「今年の梅雨の見通し」と「防災情報の利活用」について話題提供がありました。



6. 会員スキルアップ研修（応急手当講習会）

令和4年6月18日（土）佐賀市立新栄公民館において、会員のスキルアップ研修として応急手当講習会を開催しました。佐賀県防災士会員の光石氏が講師を務め、負傷者を搬送するための応急的な担架の作り方やネクタイ、紐などを使った応急手当の方法などを学びました。参加者からは大変参考になったとの感想が多くありました。なおNHK佐賀放送局が取材され後日ニュースの中で放送されました。

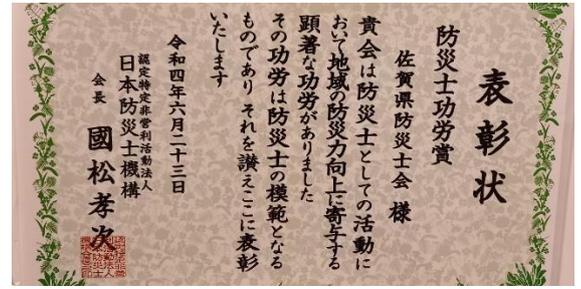


参加者からは大変参考になったとの感想が多くありました。なおNHK佐賀放送局が取材され後日ニュースの中で放送されました。

7. 日本防災士機構から防災士功労賞受賞

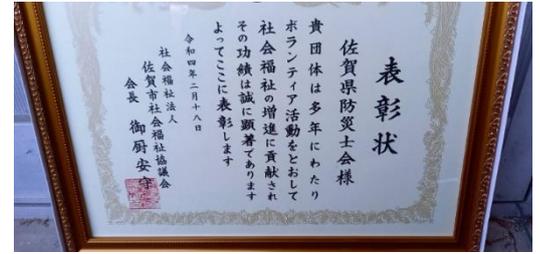
日本防災士機構の「2022 防災士表彰」の選考で、佐賀県及び佐賀市の推薦をいただき、佐賀県防災士会が「防災士功労賞」を受賞しました。6月23日に憲政記念会館代替施設において、表彰式が行われ益田代表が出席し国松孝次会長から表彰状が授与されました。

今回の受賞は佐賀県防災士会の先輩や会員の皆様、我々の活動を支援頂いている行政機関等関係機関の皆様方のおかげです。



8. 佐賀市社会福祉協議会から表彰

佐賀市社会福祉協議会とは佐賀県防災士会の発足時からボランティアセンター設置運営研修会を開催するなど、連携した活動を行ってきました。また、平成元年8月豪雨ではボランティアセンターのスタッフとして復旧活動を行いました。これらの活動が評価され今回の表彰となりました。



9. アバンセ「まなびいフェスタ 2022」で防災体験・展示

令和4年10月23日(日)にアバンセが主催する「まなびいフェスタ 2022」に参加し、防災体験や展示を行いました。昨年までは屋外の緑地で行っていましたが、今年はアバンセ1階の中庭内に各コーナーを設けました。当日は佐賀県防災士会から45名の会員がスタッフとして参加しました。体験ではAEDや骨折等の応急手当、ロープワークなど、展示コーナーでは防災情報や非常食備蓄、家具耐震化、災害トイレ、住宅用火災警報器など、また、北側駐車場では車中泊車両を展示して車中避難状態の模擬体験を行いました。今年は初めての企画としてクイズスタンプラリーを実施しました。各コーナーに問題を掲示してすべての問題に挑戦した方には景品を差し上げました。親子連れや子供たちに好評でした。



10. 佐賀県防災士会員の勉強会開催（自閉症に関する勉強会）

令和4年9月3日（土）に佐賀市立嘉瀬公民館で自閉症に関する勉強会を開催しました。これは大雨時などに避難所が開設されますが、自閉症をお持ちの親御さんなどは、他の避難者の迷惑が掛かるとの思いから、避難所には行きにくいとの思いがあり、車中避難の仕方を防災士会に教えてほしいとの依頼が佐賀県自閉症協会からありました。そこで、佐賀県防災士会ではまず自閉症のことを知ろうということで、佐賀県自閉症協会から講師を招いて自閉症について講演をいただきました。これまで自閉症のことについて知らないことも多かったので大変参考になりました。自然災害が激甚化していく中で要配慮者を災害から如何に守っていくかということは今後重要な取組としますので、我々も勉強しながら取り組んでいきたいと思っております。



11. 佐賀県防災士会にプロジェクトチームを結成

佐賀県防災士会では、昨年度「家具転倒防止対策の推進」、「住宅用火災報知器メンテナンスの推進」、「防災キャンプの開催」を重点目標に設定し、各プロジェクトチームを結成して普及啓発に取り組んできました。今年度は更に次の4つのプロジェクトチームを新たに結成しました。

- ・ 防災情報班 ⇒ 防災情報の利活用やスマホ活用術
- ・ 災害トイレ啓発班 ⇒ 災害時のトイレの重要性、活用、種類
- ・ 応急手当班 ⇒ AED体験、応急手当方法
- ・ 非常食、非常持出袋普及班 ⇒ 非常食の種類や調理、非常持出袋の中身

新たなプロジェクトチームの結成に合わせて、全会員へ各班への参加を促し、5月に開催した「2022 防災フェスタ・治水シンポジウム in 武雄」や10月の「まなびいフェスタ 2022」で活動しました。今後も会員の要望なども聞きながらプロジェクトチームの活動を進めていきたいと思っております。

12. 会員の皆様へお願い

会員個人に他の団体から「このようなイベントを開催するので、会員の皆様に周知してください」などの依頼があった場合は、イベントのポスターやチラシに依頼文書を添えて、佐賀県防災士会事務局（下記）に送付するようご案内下さい。それを受けて会員の皆様に事務局から周知いたします。

「佐賀県防災士会事務局 〒840-0852 佐賀県佐賀市中折町 1-21 E-mail : michi21@uma.bbq.jp」